

罪を犯した人の支援に関心のある方に

## 福祉の視点で考える「罪と支援」

罪を犯した人の多くは、やがて地域に帰ってきます。そのとき、地域の中で、私たちにはどのような関わりや支援が求められるのでしょうか。本講義では、社会福祉の視点から、罪に至る背景をひもとくことの意味と支援のあり方をともに考えていきます。

### 金子 毅 司 講師

- 出張講義分野  
社会福祉、司法福祉、精神保健福祉
- 研究分野のキーワード  
司法福祉、精神保健福祉、ソーシャルワーク
- 専門分野  
司法福祉、精神保健福祉



#### 大学ではこんなことを研究しています

罪を犯した人の地域生活を支えるための支援と連携のあり方について研究しています。地域で再び暮らしていくために必要な支援や、弁護士などの司法関係者との連携のあり方について、実践に即して検討しています。また、地域社会の理解や受け入れのあり方にも着目しています。

#### 先生からメッセージ

私たちは、いつでも生きづらさを感じるかわかりません。今は安心して暮らせていても、些細なことをきっかけに困難に直面することは、誰にでも起こり得ます。そう考えると、これから先に不安を感じるかもしれません。ですが、困難に直面したときにも安心できる社会をつくることはできるはずです。それはどのような社会でしょうか。社会で起きているさまざまな出来事を他人事ではなく、自分にも関わる問題として捉え、誰もが安心できる社会のあり方を一緒に考えてみませんか。

**略歴** 聖学院大学大学院人間福祉学研究科修士課程修了。修士(人間福祉学)。  
障害福祉領域での実践や大学での教育・研究を経て、2026年度4月より現職。  
社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の国家資格を有する。